

給食・食育だより

西郷村学校給食センター

令和8年 第10号

文責：所 長 池田 早苗

文書：栄養技師 石川 ともえ

3学期が始まりました。寒さも増し、感染症も流行しています。うがい、手洗いをしっかり行い、食事、睡眠を十分にとり、規則正しい生活を心がけましょう。



うまのように野菜を
たっぷり食べよう！



箸をうまく使いこなして
きれいに食べよう！



よく味わってうま味
を感じよう！

1月24日～30日は【全国学校給食週間】です！

日本の学校給食は明治22年(1889年)に始まり、各地に広がりました。戦時中に一時中断されましたが、戦後、児童の栄養状態の悪化を背景に、昭和21年(1946年)12月24日にアメリカの団体から給食用物資が贈られ、昭和22年(1947年)1月から再開されました。これを記念して設けられたのが全国学校給食週間です。学校給食週間中は、学校給食の意義や役割についての理解を深め関心を高めるため、全国でさまざまな行事が行われています。

西郷村学校給食センターでも学校給食週間に合わせて、全国各地の郷土料理などを提供します。



学校給食の移り変わりを見てみよう！

明治22年



私立忠愛小学校で提供されたとされる給食。

戦後(昭和20～30年代)



支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食。

現在



地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食。